

# 議会だより

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます  
[http://www.town.hachijyo.tokyo.jp/gikai/gikai\\_dayori/gikai\\_dayori.html](http://www.town.hachijyo.tokyo.jp/gikai/gikai_dayori/gikai_dayori.html)



テープカット



浸出水処理施設 1階



浸出水処理施設 2階



埋立処分地

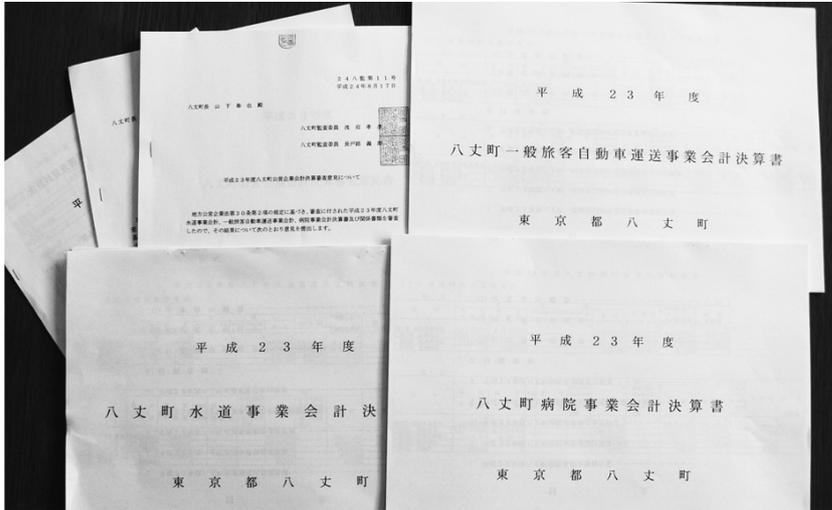
八丈島一般廃棄物管理型最終処分場落成式（10月30日）

## 目次

- 第3回八丈町定例議会 ..... 2
- 一般質問 ..... 3
- 第3回定例会の質疑から ..... 8

# 第3回八丈町定例議会

## 公営企業会計、3事業それぞれに抱える事情あり



企業会計決算書

議会では、まず8月末に行われた「第5回全国離島交流中学生野球大会」が話題となりました。これまでの最多の21チームが参加し成功裏に終わったことを評価し、職員の働きをねぎらう声が次々にあがりました。来年の東京都国体に向けた課題も出されました。

9月議会は、公営企業会計の決算審査が主な議案となります。公営企業は「企業」というだけに、本来は一般企業と同じく利潤追求を旨とすることになります。町の場合、水道、バス、病院いずれの事業も公共性が大きい。そのため、経営的にはいつも厳しい状況にあります。それでも滞納を減らし無駄をなくす努力は怠ってほならないはずで、今回もこの点が指摘されました。

### ◎水道事業

人口減少の影響で給水収益は減少しています。今回、悪質な滞納者に給水停止を行ったところすぐに納付したという事実があり、町の厳しい対応が求められました。

### ◎バス事業

震災直後の利用状況は落ち込みがひどかったものの、徐々に盛り返し、ほぼ昨年並みに戻りました。バス利用の観光客に対する特典サービスも実

施され、その効果が出てきています。

### ◎病院事業

外来患者が増加したものの入院が減少したため、ほぼ横ばいの状況にあり、依然として厳しい経営です。

決算からは離れますが、院外薬局については、試験的に実施された院外処方への報告がされました（6月8月の3か月間で33

### 外科医師の事情

突然、防災無線で発表された外科医の不在について、管理者から報告がありました。

「4月より東京都に相談したが、なかなかみつからずに公募したところ、1件応募があった。その人と交渉を続けた結果、来島はしていただいたが、実際の勤務には至らなかった。」



改めて外科医を探さねばならないことになり、当面は他科の担当医が代わりを務めることになりました。

9件）。議員からは、院外薬局の導入について住民にわかりやすい説明が必要であること、また白内障の手術の実施回数、眼科の常設などについて指摘や要望がありました。また、3事業とも一般会計からの多額の補助金が入れられているので、独立採算に一步でも近づけるような経営努力をすべきだと追及しました。

離島振興法改正を活かし、八丈島長年の懸案事項を改善する取組みをすべき

**答** 今回創設される「離島活性化交付金」の活用を検討したい



山下 松邦 議員

◆所要時間 9分

以下の質問に対する町の具体的な考えは

**問** 羽田空港着陸料の免税化

**答** 佐々木 眞理 企画財政課長

離島支援で離島航空路は6分の1に軽減されている。

**問** 産業振興の基盤になる燃料価格の引き下げ

**答** 島内のガソリンは、離島ガソリン流通コスト支援事業により、輸送費分とし

くべき。  
**問** 離島活性化交付金の活用も検討し、離島のモデルとなる先駆的地域として、地熱発電を中心に推進していきたい。

改正離島振興法にともなう予算獲得のための企画書作成について

**答** 住民、専門家の意見が取り入れられるような手法を検討する

**問** 改正離島振興法にともなう予算を獲得するには優れた企画書等を通じ国に提出する必要がある。

例えばエコアイランド構想にしてもその目的、必要性、具体的取組み内容、必要な予算など、説得力ある企画書を提示すべきである。改正離島振興法活用委員会を町として立ち上げるなど、島民からの要望の吸い上げ、優先順位の設定、企画書作成を行うべきだ。

各方面の専門家を委員に選定し、八丈支庁、東京都

の職員の応援を得ながら企画書を作成し、さらに必要に応じて専門家をアドバイザーとして内地から招集することも検討すべきでは。

**問** 企画財政課長

企画書にあたる離島振興計画を優れたものに作りあ

げていくべきである。住民参加が求められている離島振興計画は、住民の皆様の声を反映させ、専門家の意見等を取り入れられるような手法を検討していく。

**問** 山下 奉也 町長

現在、離島振興協議会で各町村の内容を取りまとめている段階である。今回はじめての法律であることから法律が先にでき、予算が伴っていない。東京都は医療費助成が進んでいるが、都道府県によって違う。国がそういった部分をいかに考慮するのかということも含め企画案を練る必要がある。各町村が競い合い、具体的に離島センターのほうにも挙げているが、その中でどれが採用されるかは決定に至っておらず、乗り遅れないよう努力したい。



大阪トンネルの展望台に公衆トイレの設置を

**答**  
上水道の関係や維持管理の問題において、公衆トイレ整備は非常に難しい



水野佳子議員

◆所要時間 13分

園多くの観光客が訪れ、絵葉書にもなっている八丈島の代表的な観光スポット、大阪トンネルの展望台には公衆トイレがなく、駐車場（山側）での悪臭には以前から多くの苦情が出ている。車を止め休憩し、見学をする公の場所にトイレは必要だ。以前から何度か指摘されているが、全く対応されていない。長年苦情が続いているため早急に公衆トイレを設置するべきと思うが町の考えは。

園奥山拓産業観光課長

景勝地において、観光施設の充実という点では、トイレ施設の整備の必要性は



大阪トンネルの展望台

重要であると認識している。しかし、上水道の関係や維持管理の問題において、公衆トイレ整備は非常に難しい。景勝地のトイレ整備は重要であることから、観光施設整備の年度別計画を策定し、整備を進めているところだが、優先順位を考慮すると現段階では当該地のトイレ設置は非常に難しい。

しかし、観光客に悪い印象をもたれないよう、平成22年度以降は観光コースとして、通常その前に立ち寄り、と村にて、大阪トンネル付近にはトイレがないとの案内を表示して対応している。

岡山市との積極的な交流を

**答**  
今後、市民と島民を主体にした交流を、なげられるような取り組みを中心と考えていきたい

園岡山市との交流が盛んになり、秀家公の史跡保存についても見直しが進んでいる。団体客のツアーも含め、八丈町に及ぼす経済効果は大きい。この11月にはチャーター船につぼん丸にて約400名の来島の予定もあり、岡山市連合町会事務局より、「交流も含めて町としての具体的な施策はできないものか」との問い合わせがあった。連合町内会長をはじめ多くの市民の方々が八丈島に熱い思いを寄せて、来島されている。積極的に交流を進めている岡山市に比べ町としての取り組みはまだ不十分であるが、今後どのような交流をしていくのか。

園奥山拓産業観光課長  
以前も「宝探し」という

イベントに関連づけての交流をしていると答えたが、平成24年度には観光振興実行委員会で岡山山陽新聞社をはじめ、関係各地に観光宣伝のため訪問した。岡山市からのつぼん丸寄港前には宇喜多家との縁のある市町村として、今回より「秋のおかやま桃太郎まつり」に宣伝・PRを兼ね芸能文化の交流と八丈の物産展で参加予定。そして「につぼん丸」の受け入れにちなんでいきたい。

園平成20年に植樹された宇喜多家公関連の松の一本が枯れており、苦情を受けた。町としての対応が安易なのでは。

園持丸孝松 副町長

宇喜多秀家のお墓近辺の駐車場確保を考え、移設できるような施設等も考え、今後も岡山との付き合いを大切にしていきたい。

学校給食の充実に向けて町の取り組み  
組むべき課題は

**答** 施設と労働環境の改善をすすめている



奥山 幸子 議員

◆所要時間 34分

生徒数の減少や公的補助費の減額、食品の安全性の強化など学校給食をめぐる環境は年々厳しくなっている。こうした現状にあっても、栄養の確保や献立の充実が求められる。町は様々な子育て支援に取り組み徐々に成果を上げてきており、学校給食に対しても積極的に充実させる対策をたてるべきである。

園給食センターの施設と労働環境の改善が必要と考える。



八丈町給食センター

園 福田 高峰 教育課長

センターは築19年経ち施設の課題もでてきている。雨漏りについては8月に改修工事を行った。故障中の換気扇については業者と調整中である。調理場の暑さ対策については、この夏スポット式のクーラーを購入し今後も労働環境の向上を

図っていく。

園 食育の観点から、学校給食費の値上げは慎重に検討してほしい。

園 学校給食費の値上げは、給食運営協議会で審議しており結論は出ていない。地産地消や子育て支援に加え、財政事情を考慮して方針を決めていきたい。

園 来年度の値上げはないと考えていいか。

園 佐藤 誠 教育長  
今はなんとも答えられない。

クリーンセンターの新築へ向け今から準備を

**答** 新築と改修の2つの案を検討中

園 平成9年に供用開始したクリーンセンターの老朽化が年々深刻になってきている。大規模な修理を繰り返すよりも、新築してより安全性の高い施設を目ざす必要

がある。

新築に対する町の考えと、現状の改善策を伺う。施設の規模や場所の選定に着手すべきだと思うが町の考えは。

園 佐藤 真一 住民課長

センターの新築について東京都環境整備公社と7月の打ち合わせで2つの提案を受けた。1案は新築。2案は既設建物を活かし焼却部分のみを更新する案。町としては、耐用年数がまだあることや財政的理由から2案を優先するが、既設建物にプラントを納めることが技術的に可能かどうかを検討中である。2案が不可能なら1案になり、改めて計画の策定にかかることになる。

園 現在の施設の延命を図るため、月に1回のゴミ受け入れ休止日を。焼却灰の安全性を確保するため、年1回のダイオキシン等検査を増やしてほしい。

園 住民課長

9月から受け入れ休止日を設けた。検査も大島に準じて4回にする予定。

末吉小学校跡地利用と地域振興策の具体案を

**答** 現在検討中で具体策はまだ示せない

園 末吉小学校跡地については、スポーツ合宿所として利用する案が浮上している。末吉地域の振興策を含めた具体案を、住民に対して早急に示すべきだと思う。

園 佐々木 眞理 企画財政課長

末吉小学校跡地利用は現在検討中であり、具体案を示すことはできない。総合開発審議会では、スポーツ合宿をふくめた学習・交流施設がよいという意見が出た。9～11月に地元との意見交換を行い、11月末には自治会総会で素案を示したい。

改正離島振興法に対する町のとり組みは

**答** 住民の声が一番大切。住民参加の機会を設けながら検討していく



岩崎 由美 議員

◆所要時間 9分

国益における離島の役割を明記し、ソフト重視の離島振興を打ち出した内容であることが大きな特徴である。改正離島振興法が6月2日に成立した。平成23年3月の定例会で今回法へのとり組みについて伺ったが、「全国離島振興協議会」を通しての要望となり、平成24年度に法案改正の内容が明確になった時点で、今回法に基づいて離島振興計画原案を作成して東京都に提出し、平成25年度に今回法施行後、東京都が離島振興計画を策定するという流れ

になっているということであった。具体的な施策としての今回法の大きな柱は、医療や教育、産業振興のためのソフト事業に幅広く使える離島活性化交付金のおよび、税制優遇や規制緩和を島に限って認める「離島特区制度」の創設である。

**問** 離島活性化交付金について 今回の法改定で新設された第七条の二で離島活性化交付金等事業計画の策定が規定されたが、都道府県の事業計画に基づいて交付される本交付金について、八丈町としては今後どのような事業を策定していく予定か。

**答** 佐々木 眞理 企画財政課長  
8月2日に離島振興法改

正の説明会に参加。本交付金に位置づけられる事業は「別途、政令で定められる」となっており、付帯決議に明示されたもの以外に具体的に示されていない。現在、離島振興計画の原案策定に着手したところである。内容は「交通、流通に関する事項」をはじめ15項目で構成されており、交付金事業についても項目ごとに検討していきたい。また全国離島振興協議会で、各市町村に対し「交付金の活用による新規ソフト事業実施意向調査」を行っている。実際



の実現化は別として、想定されるいくつかの事業をあげた。具体的な事業はまだ示せないが、他の自治体の情報も得ながら離島振興計画に沿った事業をあげていきたい。

**問** 離島特区制度について 新たな本制度を活かすことにより、八丈島らしい活力の再生の可能性があると考えられる。しかしながら、そのためには様々な調査や住民参加の議論が必要であるが、これについて、どのような取り組みを行う予定であるか。

**答** 町としても、何らかの特区提案ができれば活性化を図れるという点で、期待を大きくしている。しかし離島特区制度については、改正条文にあるとおりまだ創設されていない。過日の説明会の中でも、規制緩和とされれば振興がはかれるといったものがあるが、あわせてほしいとのことだった。島の声を受け止めている。相当な

専門的知識が必要になる場合も想定され、具体的なとり組みの形は決めていない。現行の構造改革特区提案の手法を参考にしながら、提案を実効性のあるものにしていきたい。離島特区の創設に向けて、住民からの声をきくためにアンケート調査を行ってみたいと考えている。

**問** 来年25年度から始まるのであるべく早く進めて行ければと考える。住民参加の上で進めていくということだったが、どのようなスケジュールで進めていくか。

**答** 企画財政課長  
まだ、はっきりした形は決めていない。住民の声が一番大切。まずは説明会、ワークショップを開きながら実効性のあるものにしていきたいと考えている。

白内障島内手術、年2、3回で対応可能か

**答** 足りなければ状況を見ながらお願いする



菊池 睦男 議員

◆所要時間 58分

島内での白内障手術が実現する事になったが関係者の努力を評価したい。町長は「手術に取り組むにあたって、患者がどれ位いるか調査しなければならぬ」と述べたが実態は把握されているか。

問眼科臨時診療での一年間の受診者数と病状の内容別内訳

答伊勢崎 孝久 事務長

平成23年度中の延べ患者数は2263件。平成23年度白内障は71件（内訳…国

保22件、後期高齢47件、社会保険2件）。糖尿病性網膜症の患者数も多く、ほかに緑内障、翼状片等がある。

問島外手術者の把握はできるか。国保利用の患者数、他の医療保険加入者患者数は。島全体の罹患者の推測は可能か。

答島外手術は病院では把握できない。住民課、健康課によると、白内障関係で東京の医療機関を受診した患者数は23件（国保利用）。東京以外の医療機関での受診患者の把握は難しく、手術した患者だけを特定することはできない。後期高齢者は、広域連合が扱っているため内容調査が難しいとのことだが、健康課が行っている島外医療機関通院交通費補助事業について、平

成24年度8月末現在の状況は補助件数80件中、白内障は7件。

問紹介状の発行者数は何名か。

答眼科紹介状合計は57件。（白内障…34件、白内障以外23件）白内障内訳…国保10件、後期高齢者21件、社会保険2件、その他1件。白内障以外は緑内障、翼状片、糖尿病性網膜症及び網膜剥離等

問同規模自治体の大島の実情は。

答平成23年度、大島医療センターの状況は眼科受診者数3214人、白内障患者数650人、白内障手術件数97件。（片目を1件と数える）

問以上の点から「日医大の年2〜3回の手術は可能」との回答だがその頻度で対応できると思うか。

答町立八丈病院で手術が可

能か医師の判断による場合、術後の治療が必要になる場合、島外の手術を希望する場合などを考慮すると、年2、3回で手術を必要な方全てに対応できるとは考えていない。

算も出て、本来対応できる患者も「重症であるため東京へ行ってください」ということになる住民の期待を損ねる。大島のように月一度くらいの頻度で行うよう交渉してほしい。

答山下 幸也 町長

問大島の実情を聞いたが週1回、月一度の手術をしているとのこと。（大島…3214件、八丈島…2263件）年に2、3回で対応できるのだろうか。医療機器購入費5100万円の予

大島から医師の派遣協力の話も出たが、日医大にお願いすることになった。足りなければ、今後状況を見ながらお願いをしなければならぬ。

●こんな質問もしました

質問 大型イベント開催にあたって食材自給体制を図れ

答 イベントにおいて農産物、水産物は積極的に利用し、最大500食から600食まで対応できる

質問 携帯電話不感地帯解消のための改善策は

答 町単独でアンテナは建てられないため、携帯事業者との調整を図りながら取り組んでいく

質問 再生可能エネルギーを起爆剤にした島おこしを図れ

答 再生可能エネルギーの実用化は、改善しなければならぬ課題があるので、まずは実証実験を見ながら考える。

質問 空港窓口でのHATの電話サービスの復活を

答 HATの旅行サービス事業廃業により電話サービスの対応は難しい

## 第三回定例会の質疑から

町長は地熱発電の発電量を上げると言うが、根拠は

奥山幸子議員 町長は地熱を重視し地熱発電量を80%に上げると言う。井戸を3本掘っているが1本しか稼働していない。それも14、5年経過している状況で根拠が分からない。東電も苦しい状況下で新たに掘ってもらうのか。

山下奉也町長 私の構想で具体的には何もない。財政的には離島はなかなか自立出来ないが、熱源では自立できると考える。余力があるので8000キロワット、1万キロワットはきつい、そのような形で新しい井戸を掘ってもらいたいという考えからそのような発想になった。

奥山幸子議員 地熱館を町が買うことになった以上、

絶対にやって頂かないと地熱館の意味がなくなるので議会としても後押ししたい。



山口英治議員

物事、良い部分と負の部分がある。お金の問題、硫化水素の問題などいろいろある。東電とも協力して、できるだけ負の部分の少なくして実行してもらいたい。

山下奉也町長 今は技術も進んでおいを表に出さないうで還元する方法があると伺っている。今度はお金を表に出さない方法でやってもらいたいと考えている。

海抜標高サイン設置はいつか

山下松邦議員 海抜標高サイン設置は具体的にいつ設置となるか。

山越整務課長 数年前、海抜30mに石の標識を島内30カ所設置した。見にくい部分もあるので、東京電力の電柱に、今年度中50カ所を目途にして、30mを目安にした標識をつけたい。



山下崇議員

南海トラフの想定が出て津波到達時間が相当早まるという予想が出ているが、対策をとる考えは。

山越整務課長 東京都が今年度いっぱい各地区的被害想定をまとめる。被害想定を受けてハザードマップ、もしくは防災の便利帳に反映して配布したい。

やる気のある子供たちの学習面をサポートせよ

山下崇議員 八高の吹奏楽

において、去年、一昨年と中学生で賞をとった生徒が高校にあがり指導者がいない状態に苦しんでいる。コンクールに出ることすらできない状況にある。目の前にある問題は、しっかりと指導者がいないことである。学校の設備面も貸してほしいが難しいと聞いている。やる気のある子供たちの学習面をもっとサポートすべき。

佐藤誠教育長 コンクールに出ないことは間際になって分かった。生徒と指導者の考えが一致しないこと、また2年間大きい賞をとった後のプレッシャーがあったと推測している。中学校においても、教員の島嶼公募の説明会に行ってきたが、教科の中には、島嶼公募で引く張ってくるのは難しい実情もある。良い先生を引っ張って来るように努力していきたい。

山下崇議員 理科の分野でも苦しんでいると聞く。スポーツ一辺倒というのが納

得いれない。運動に比べ勉強の方が極端に少ない。野球場を作るなどのハード面だけではなく、大会にも莫大なお金を使っているが、学習の方では伸びていくだろう生徒に対する投資が全然見られない。

佐藤誠教育長 東京都も理科の専門教員採用と言う形で施策として出している。理科の専門的な指導が出来るような先生、そういう事も考慮に入れていきたい。

国民健康保険税、滞納等について町の姿勢は



土屋博副議長

国保会計は町と被保険者間で、相互扶助の精神で行われている。歳

入歳出差引不足額が2億8336万円であり、滞納額1億4500万円を整理しても1億円以上が不足する。他の町村等を見ると一般会計で面倒を見なければならぬ。国保を今までで

上に値上げすることも出来ないと思うが町の姿勢は。来年度も値上げはしないのか。

山口英治議員 国保は独立採算であるが、なぜ独立採算であるかと言えば全ての人が国民健康保険に入っているわけではない。繰り上げ充用のような形で来年度予算も完全に破綻しているので一般会計で見るといい。独立採算自体が無理なものではない。割り切った一般会計から繰り入れを考

える時期に来ている。

山下奉也町長 国保会計は赤字が出る仕組の部分がある。そのような部分は毎年一般会計から出し、出来るだけ繰り上げ充用が高額にならないようにしていかなないと、最初から雑入で組むのは非常に問題がある。町長として今の段階では、国保税を値上げしたくないと考

### 宇喜多秀家関係について

菊池睦男議員 圃ガイドブック改訂版は年度内に出るか。

### 圃奥山拓産業観光課長

現在出ているガイドブックを修正している状況で、9月末には増刷をかける予定。

圃住んでいた屋敷から、釣りに行ったと思われる浜までの散策コースの検討は図られたか。

圃案内板を表示してやっていこうというところまで話しているが、9月の観光振興実行委員会に提案して行く。

圃駐車場用地に元公会堂の跡地(町有地)、または近辺の土地を買収してはと提案したが結果は。

### 圃持丸孝松副町長

全員協議会に、町の案も出すので協議して頂きたい。

### ● その他

◎ 最終処分場稼働前に説明会を行う考えはないか

◎ 汚泥再生処理センター、堆肥の生産状況は

◎ 飛行機の就航状況問い合わせ窓口を観光協会です

◎ 野ヤギにおける被害状況は

◎ 八丈町のいじめの現状は

◎ 給食費の見直しを

◎ 町営住宅建て替え移転世帯への軽減処置を

◎ 廃墟と化した空き家の対策は

◎ 南原野球場の金属類が変色しているが、設計書通りの材料が使われているか

◎ 南原野球場のスコアボードが小さい

◎ 四中記録会でのスパイク使用禁止はなぜ

◎ 鉄壁山の学術調査を行うべき

◎ 島外医療機関にかかった際の交通費助成、手続きの簡素化を

◎ シルバーパスは啓発費を組んで勧誘を

◎ 機能別消防団は、すぐに再入団できるのか

◎ 集客事業、関西方面以外の営業を行う考えは

◎ 経費をかけて町立病院改革プランを作成する必要はあるのか  
なども質問しました。

### 意見書の提出

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書  
提出者…奥山博文  
賛成者…議員全員  
原案可決

### 任期満了に伴う委員会委員の選任

(任期平成24年10月25日～26年10月24日)

#### ◎ 常任委員会

総務文教委員会(定員7名)

委員長 奥山 幸子  
副委員長 山下 崇  
委員 水野 佳子  
菊池 陸男  
奥山 博文  
沖山 宗春  
小澤 一美

議会運営委員会(定員7名)  
委員長 奥山 博文  
副委員長 菊池 陸男  
委員 山下 松邦  
奥山 幸子  
山口 英治  
長戸路義郎  
土屋 博

経済企業委員会(定員7名)

委員長 山口 英治  
副委員長 山下 松邦  
委員 菊池 良  
岩崎 由美  
廣江 才  
長戸路義郎  
土屋 博



## 町ナビ

文化の日の3日、島内の4つの小学校で恒例の運動会が開かれた。来年閉校を迎える末吉小学校はこれが最後の運動会。おなじみヤギレースをはじめ、地域色豊かなさまざまなプログラムが盛りだくさん。在校生15人のほかに同校を卒業した中高生、そして保護者や家族、地域の人たち、島外からも末吉郷友会のメンバーらが駆けつけ、最後の秋の1日を心から楽しんだ。



### 9月定例会主な議決事項

- 八丈町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について ほか同意1件
- 平成24年度八丈町一般会計補正予算 ほか補正予算6件
- 八丈町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例 ほか条例改正1件
- 東京都市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び東京都市町村公平委員会共同設置規約の変更について ほか規約変更1件
- 桧立中之郷線道路改良工事請負契約 ほか契約1件
- 議員の派遣承認について（第23回東京都道路整備事業推進大会） ほか派遣承認1件
- 平成23年度八丈町水道事業会計決算認定 ほか決算認定2件
- 常任委員会委員の選任について ほか選任2件
- 農業委員会委員の選任による委員の推薦について
- 全員協議会 平成24年7月31日開催
- 東京電力TEPCO八丈島地熱館の取得について
- 八丈町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について
- 八丈島歴史民俗資料館基本計画について 院外処方について
- 全員協議会 平成24年9月6日開催
- 新庁舎建設の進捗状況について

## 編集後記

暑かった今年の夏。8月27-30日に、第5回全国離島交流中学生野球大会が開催されました。汗と土ぼこりにまみれ、声をかけ合いながら戦うひたむきな子供たちの姿が印象に残っています。南原野球場はできあがったばかりで、富士グラウンドは人工芝の張り替えを終えたところでした。参加者は、まあたらしい会場でプレーできて嬉しかったことでしょう。この間、準備から当日の試合、後片付けまで、役場の職員は

大会を成功させようと必死に頑張りました。チームを受け入れた宿をはじめ関係者の方々のご苦労も忘れてはなりません。

わたしたち議員は、ひごろ執行部を追及することに終始するのにも、9月議会では職員の陰の活躍をたたえる声があがりました。私も役場職員の潜在能力を再認識しました。この力をすべての事業に注いであげたら素晴らしいなあ…。

奥山 幸子

発行人 八丈町議会議長 小澤一美

編集 議会だより編集委員会 委員 山下崇 岩崎由美 水野佳子 奥山幸子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷2345-1 tel 04996-2-1121 fax 04996-2-5575